

令和7年度 学校経営ビジョン

1. 経営理念

学校は、一人一人の児童に、未来を生き抜き、持続可能な社会の創り手となる資質・能力を育むことを求められている。

一方で、学校は、子どもたちにとって安全・安心に学ぶことができる場、子どもたち一人一人が認められ「今日も楽しかった、明日も来たい」と思える場、自分に自信を持ち、明日への夢と希望が持てる場でなければならないと考える。

全ての児童が、安全・安心を土台にして、主体的・協働的に学び合ったり、教師と子供の人間的なふれあいや学校・家庭・地域との連携・協働によって、自ら判断し行動したりできる「**活力がある、楽しい学校**」を創っていきたいと考える。

そのために、「**児童も教師も、みんなが元気 みんなで前進**」を経営理念とする。

2. 学校教育目標

**自ら学び、心豊かで、たくましい児童の育成
～みんなが元気 みんなで前進～**

3. 目指す学校像

- (1) みんなで学び合い、一人一人の資質・能力を伸ばす学校
- (2) 温かく規律があり、活力ある風土の中で、切磋琢磨できる学校
- (3) 児童、保護者、地域の方々から愛され、信頼され、応援される学校

4. 教育方針

- (1) チームとして意図的・計画的・組織的な学校運営を行う。
- (2) 毎日の授業が学校教育の要であることを意識し、授業を通して児童を育てる。
- (3) 各校務分掌でつきたい力を焦点化し、短期スパンの検証等を踏まえて重点的に取り組む。

5. 目指す児童像

- (1) 「自ら考え、自ら学ぶ子」
考え伝え、進んで学び合う子（「思考力・判断力・表現力」を育む）
- (2) 「やさしく思いやりのある子」
規律正しく、相手の気持ちを考え、思いやりのある子（「思いやりのある温かい心」を育む）
- (3) 「たくましい子」
心身が健康な子（「やり抜く力・粘り強さ」を育む）

6. 目指す教師像

- (1) 教育のプロとしての自覚や使命感、感性をもち、愛情あふれる教師
- (2) 常に研鑽を積み、創意工夫でチャレンジし、児童に力をつける教師

- (3) 元気はつらつ、笑顔いっぱい児童に活力を与える教師
- (4) 同僚性が高く、互いに協力し合いながら、生き生きと仕事をする教師
- (5) 児童、保護者及び地域の方々から信頼される教師

7. 本年度の重点目標と達成のための中心的な取組（◎は最重点取組）

（１）確かな学力の育成

- ①子供主体の授業の定着
 - ◎子供の「学びたい」を大切にした、考えを出し合い、学び合う協働的な学びの充実
- ②組織的な学力、授業力向上
 - ・適切な学力分析による課題の明確化と具体的な改善策の立案と共通実践
- ③自己調整力を育む家庭学習
 - ・自ら課題の質や量を選択する家庭学習の推奨
- ④学習集団づくり
 - ・生徒指導の４つの視点を生かした授業づくり

（２）豊かな心の育成

- ①自己指導能力を育む生徒指導
 - ・「認め・励ます・伸ばす」指導と自ら考えよりよく決める、自己決定の場の保障
- ②いじめ・不登校の未然防止、早期発見、早期解決
 - ◎一人一人の良さが認められることによる未然防止と関係機関とも連携した迅速な組織的対応
- ③道徳教育の充実
 - ・特別活動や各教科との関連を生かした、重点「親切・思いやり」の育成
- ④一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育
 - ・特支コーディネーターを中心とした支援体制の構築及び適切な支援の充実
- ⑤心身の健康の保持増進と安全の確保
 - ・養護教諭や栄養教諭の専門性を生かした、命・健康の大切さを考える指導の充実
- ⑥感性を豊かにするジオ育・読育の推進
 - ◎自然体験や人的・物的資源を活用したジオ学習の充実

（３）健やかな体の育成

- ①省察力とGRITの育成
 - ◎目標達成に向けてたくましく、粘り強くやり抜く力「GRIT」を育む取組の充実
- ②運動を楽しむ意識の醸成
 - ・運動に親しみ技能を身に付ける、楽しい体育の授業の充実

8. 目指す学校組織のあり方と達成のための中心的な取組（◎は最重点取組）

（１）組織的、機動的な学校運営

- ①主任・主事等との連携
 - ・コミュニケーションの活性化とビジョンの浸透
- ②チーム担任制の充実
 - ・気づきの共有を生かした手立ての再構築と若手の育成

(2) 家庭・地域・関係機関との連携

①地域との連携・協働

◎学校運営協議会の実効性を高め、学校と地域の連携・協働を強化(熟議・学校ボランティアの充実)

②教育活動の公開、情報の発信

・各種お便り等による児童の頑張りや学校の取組等の紹介

③家庭との連携による成長の支援

・努力の過程を「認める、ほめる、励ます」関わりの共有

④関係機関との連携

・発達の連続性を踏まえた幼保小及び小中連携の推進

(3) 教員の働き方改革・業務改善の推進

①教職員のゆとりと働きがい

◎自己の健康・業務管理の意識の向上、改善と働きがいの感化

9. カリ・マネの柱

「協働的問題解決力」

仲間と力を合わせて問題を解決する、何かを成し遂げる、自分の考えをよりよいものにする

(1) 学習面(学習・研修部)

①主体的・協働的に学び合う児童を育成する

「思考力」「課題発見解決力」「伝え合う力(表現力・コミュニケーション能力)」「協働力」

(2) 生徒指導面(生徒指導部)+道徳科(道徳教育推進教師)

①友達や自分の良いところを認め合える児童を育成する「思いやりのある温かい心」

②正しく判断し、行動できる児童を育成する「判断力」

(3) 特別活動面(特別活動・体育部)

①話し合って決めたことを、力を合わせてやりきる児童を育成する「協働力」

②自身の取組をふりかえり、次の機会に生かしていく児童の育成「省察力」

(4) 保健体育面(特別活動・体育部)

①粘り強くやりきる児童を育成する「粘り強さ・最後までやりきる力・忍耐力」